

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 藤井 信  
 新潟県山岳協会  
 長岡市学校町3-11-7  
 TEL 0258-32-4835

事務局 諏訪恵一  
 長岡市高畑町610-10  
 TEL 0258-35-4373

編 集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 横山征平  
 岩船郡関川村下関1100-1  
 T/F 0254-64-0469

## 平成13年度最後の 常務理事会開催

### 新山協事業概ね計画通り実施 加盟団体の高齢化進む

去る三月十六日新潟市万代市民会館で今年最後の常務理事会を開催した。

#### 議題

- 一、平成十三年度事業報告・収支決算見込みについて
- ・各委員会委員長から事業の実施状況と決算見込みについて報告。各委員会とも概ね計画どおり事業を実施した。
- ・詳細については四月に開催予定の評議委員会で報告することとした。
- 二、平成十四年度事業計画・予算案について
- ・事業内容は前年並みであるが、財源の伸びが期待できないので止むを得ないことである。世の中が複雑になり、新山協の抱える課題は山積するばかりである。
- 三、中国青海省登山協会との兄弟締結十周年記念行事について

・本年が締結十周年に当たることから、記念行事として新山協では中国に赴き、記念行事（記念登山）を行う計画を進めている。実施は今秋の予定で、計画の詳細は四月の評議委員会には示す予定である。（担当/海外登山委員会委員 長小林重一郎）

なお、今年二月に青海省からお二人が来訪し、交友を深めた。

- 四、平成十四年度競技力向上対策事業計画について
- ・二巡目国体に向けて各競技団体に競技力を向上させるための取り組みについて、協会として十四年度以降の活動内容を県体協に提出してあり、その資料に基づき説明があった。山岳競技担当の県宮下レクターとのヒアリングが今後何回か行われるが、ヒアリングの内容を踏まえて対応し

ていくこととなるので、関連委員会との連携で進めることとなった。

五、強化拠点地域・強化指定校の打合わせ等について

・二巡目国体に向けて県体協の対応策の一環事業であり、これまでの対応内容について説明があった。

少年選手育成のためには、高体連との連絡が必要なことから、双方で意見交換を行いながら県体協と対応していくこととなった。



今年2月20日中国青海省山岳協会から  
来訪時歓迎会 前列左から2、3人目

六、「新潟県山岳協会加盟団体における安全・遭難対策の実態及びその問題点と課題」に関するアンケート調

査結果について

・昨年十一月新山協遭難対策委員会（谷中隆明委員長）が窓口となり、全加盟団体を対象に実施したアンケートの結果の概要を谷中委員長から説明があった。

加盟七十三団体の五十六団体から回答。

今後の運営の指針にもなる内容で、加盟団体の特に気になるところは、若年層の入会者が激減していること。かつての戦士もいまや老兵となり、国体山岳部門の強化策にも影響しそうだ。まさに高校山岳部の復活を願いたくなる。

詳細については四月の評議委員会に報告し、検討してもらうこととなった。

七、参与会の案内について

・理事会で検討してきた内容について評議委員会に報告し、会員募集を行うこととした。

八、その他

・南会津のブナ林を守る連絡協議会について

・只見川上流のブナ林伐採計画があり、これに反対する団体から署名活動の案内があったが、協会としては加盟山岳会個々の判断により対応することとした。（遠藤・横山）



# 国際山岳年に思う

## (山岳協会の歩む道)

副会長 土田 幸雄

本年は国連の提唱する「国際山岳年」である。

国連はこれまで毎年「国際児童年」、あるいは「国際婦人年」といったテーマを設け世界中が統一した行動をとるよう呼びかけている。

「国際山岳年」は、平成四年、リオデジャネイロで開かれた地球サミット(国連環境開発会議)で採択された二十世紀の地球環境の保全をめざす「アジェンダ21」に基づき山岳地域の環境保護をめざすことを目的としている。

「国際山岳年」は「国際登山年」ではない。

『山岳は水、エネルギー、さまざまな生物体系の重要な源である。また、山岳は鉱物、林産物、農産物などの重要資源の源でもありレクリエーションの場でもある。複雑で相互に関連している地球上の生態系を代表するものとして、山岳環境は地球の存続にとって



不可欠のものである。しかし山岳生態系は急速に変化している。加速度的な土壌侵食や地滑り、急激な動植物生息地の減少及び遺伝子の喪失の危機にさらされている。:(アジェンダ21第13章)」と記されている。

いささか長いですが、要すれば地球温暖化にさらされ脆くなった山々や山麓の環境の現状を世界中の山を愛する人はもちろん、山岳や登山に関心を持たない人達にも認識してもらい、山岳や登山と環境の問題、あるいは山麓の文化の問題なども改めて考え、見詰め直す年にするということだそうである。

これを受けて日本では昨年11月、学術、登山界の代表達で「国際山岳年」日本委員会が発足し、各地で行われる行事の支援や委員会独自のフォーラムが催されることになっている。

日本山岳協会は本年1月か

ら12月までの一年間の行事を冠事業とし『国際山岳年記念○○○』と銘打った事業とするほか、9月14日、15日の両日は国際山岳連盟の呼びかけに応じ全国各県で「国際山岳年記念全国一斉登山大会」の実施を考えていると聞く。

何か春霞のようで、いまひとつはつきりしない「国際山岳年」だが、これを機会に山岳協会の歩むべき道を原点にかえって考えることも意義あることではないだろうか。

日本山岳協会の定款では、「この法人は、正しい登山を指導普及してその健全な発達を図り、あわせて登山を通じて国民体育の振興に寄与することを目的とする」とあり、この目的達成のため、①登山技術の指導、②登山道徳の啓蒙普及、③山岳遭難の予防と遭難対策、④山岳自然保護運動の推進、⑤国民体育大会山岳部門の運営などの事業を行うとしている。

また、県山岳協会の規約は「本会は登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和をはかる」ことを目的として、日本山岳協会と大同小異の事業を行っている。

ところで、2009年に開催される二巡目の新潟国体が7年後に迫った。

登山が国体の正式種目となつて久しい。正式種目ということとは得点がカウントされ都道府県の順位に影響する。

まだ公開種目だった昭和39年の第19回新潟国体は、国体史上初めての残雪期に、しかも雪の飯豊連峰稜線上の幕宮4泊を含め、5泊6日という前例のないスケールで開催され、全国から参加した選手、役員の方々はもちろん、岳界からも称賛された。

当時の山岳競技は、6日間わたる行動を通じて、「装備」、「マナー」、「チームワーク」などで総合評価した本来の登山の実践で、現在の「より早く、より強く、より高く、より険しく」を目標としたものではなかった。

山岳協会は国体を主管する各都道府県体育協会は当然のことながら国体での上位入賞を目指して選手強化に取り組んでいる。

新潟県体育協会は二巡目国体を視野に昨年度から加盟団体の分担金を引き上げた。

その際、山岳協会として「当協会では、国体競技は事業活動の一分野に過ぎない」と、当協会の事業は「安全登山・公德登山」というモットーに凝縮されるように、登山技術の指導、登山道徳の啓蒙普及、山岳遭難の予防と対策山岳自然保護運動の推進などが極めて重要な事業であること」の意見書を提出し、分担金引き上げ幅を圧縮してもらった経緯がある。

加えて、本年の高知国体から踏査競技が廃止され、競技性の高い「縦走」、「クライミング」の2種目となって本来の登山から益々遊離し、一般社会人山岳会員では上位入賞は望むべくもない。

国体不要論も耳にするがそれはともかくとして、山岳団体としては、中高年登山者の山岳遭難の増加、登山道の荒廃、お花畑の踏み荒らし、山でのし尿処理問題等々の現状を直視し、「国際山岳年」を「正しい登山の指導普及と健全な発達、及び登山を通じて国民体育の振興に寄与する」という原点に帰った活動をより強める年とすることも意義あるのではなかろうか。



# 平成13年度関東地区山岳連盟 連絡協議会が開催される

期日 平成14年2月16日(土)  
17日(日)

会場 群馬県利根郡水上町湯原684 去来荘

標記連絡協議会は、関東地区の行事や運営についての協議会で、北信越五県連絡協議会と全く同じであります。

何故、関東地区連絡協議会(8県)に新潟、長野、静岡

の三県が出席するの理解解出  
来ない役員も多くなりました。

過去、23年以前には、三県とも関東甲信越のブロックの一員でした。

現在の国民体育大会が全国九ブロックに編成されたとき、新潟、長野両県が北信越、静岡県が東海ブロックへ移籍するのであります。

このような関係から、当連絡協議会には、三県はオブザーバーでありますが、登山界の諸々の情報交換の場であり、関東甲信越の多くの岳友との親睦会などあります。

連絡協議会での内容、

国体山岳競技の関係、スポーツクライミング競技会関係、ジュニア関係、(高校生、教員、大会期日、旅費、賞状等)

国際山岳年の行事、自然保護、(南会津のブナを守る会)等であります。(藤井 信)

## 2002年国際山岳年記念 第41回全国登山体育大会

大分大会開催要項  
大会テーマ

「輝く緑の森林と草原で親睦の輪を」

とき 平成14年8月23日

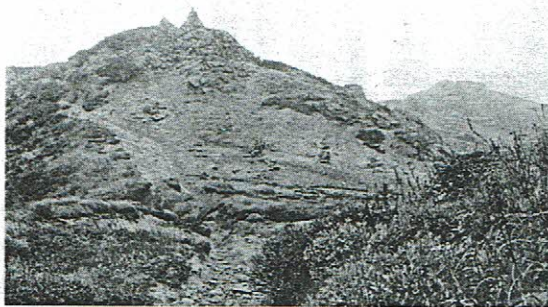
ところ 阿蘇くじゅう国立公園 くじゅう山系 祖母傾国立公園 祖母山系

主催 (株)日本山岳協会  
締切 平成14年6月20日  
(新山協事務局への申込期限平成14年6月5日まで)

参加費 33,000円  
(会場までの交通費はこの外になります。)

照会/参加申込 新山協 遠藤理事長まで

〒950-11407  
白根市鷲の木新田1049  
T/F025-36215004



飯豊山 岩閃閃花崗岩といわれる花崗岩

## 山と岩石

小野 健 さわがに山岳会

### ⑫ 中・下越山間部の骨格を成す深成岩

日本一小さいといわれる櫛形山脈や、福島・山形県境に跨る飯豊山脈の杵差岳・北股岳・最高峰の大日岳などは、白亜紀後期の花崗閃緑岩を主盤とし、その特徴的な山容や四季の変化が、多くの岳人達に親しまれてきました。この飯豊山地の花崗岩類は、**貫川花崗岩**といわれ、県北の山で紹介した**草水・小川花崗岩**に貫れています。これらの酸性深成岩類は、西南日本(糸静線以西)内帯の山陽帯(中国地方)の延長ともいわれています。

その西側には、白亜紀後期から古第三紀の**斑状花崗岩**が分布し、二王子岳・焼峰山・蒜場山など、馴染み深い兄弟の山々が並んでいます。

両者の間を貫流する胎内川流域には、三疊紀(2億年前)の堆積岩の**黒色粘板岩・砂岩**が広域にみることができます。

このように、中・下越の名山は、地球深部でマグマが固まってできた、通称「御影石」の山々が多いのです。

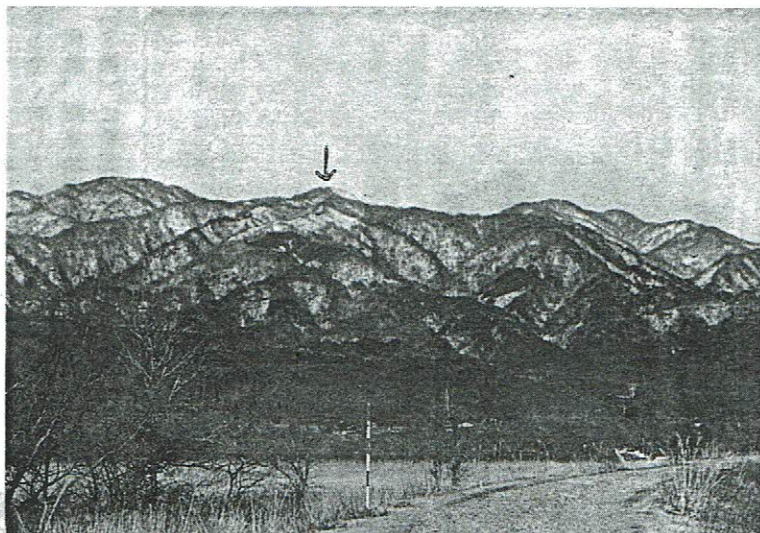


杵差岳 (3.24撮影)

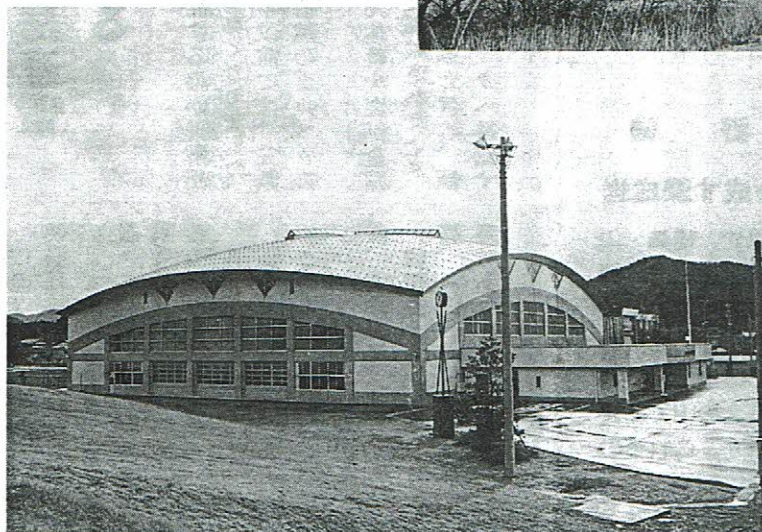


### 今年の国体山岳競技県予選会場

写真でご案内



▼ えちごせきかわ「ど〜む」  
クライミング競技会場  
所在地 関川村「国道113/道の駅」



▲ 三角点山 (通称) 標高576.5m  
縦走競技会場の山並み  
所在地 二・五万図 越後下関  
(下関の北東4.25キロメートル)

編集ことうき

▲ 二巡目新潟国体(平成21年開催)の山岳競技会場も東頸城安塚町に決まり、今後は開催に向けての準備が活発になります。

各位のご協力をお願いいたします。

▲ 去る一月十九日上越高田で開催の、新山協新年会には六十四名の参加があり、終始賑やかな宴でありました。高田の皆さんご苦労さまでした。

▲ 新山協ニュースがこのところ編集担当の怠けから、遅れており大変ご迷惑をお掛けしました。  
今後は遅れないよう頑張ります。紙面はいつも新緑でいたいのですが、時々時節はずれの枯葉状態になることがあります。投稿のご協力をお願いします。

▲ 今年の国体山岳競技新潟県予選会は四月二七・二八日に岩船関川村で開催されます。山は通称「三角点山」と道の駅にある多目的運動施設「ど〜む」で開催されます。  
(征)

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ  
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー

Mountain & Outdoor  
Parr Mark

パーマーク  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30-PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>